

## 衣替えのポイント 秋は簡単に

今年も春、夏と皆さんは衣替えをされたことでしょう。広いウオークイン・クローゼットがあれば別ですが、押入やクローゼットの中身を入れ替えなければならぬので、衣替えはなかなか面倒なものです。暑い日が続く季節で、気が早いと思われるかもしれませんが、本誌発行時期の関係から、今回は秋の衣替えをとりあげます。秋の衣替えは、とりあえず着るものだけを引っ張り出すことが多く、雑然とした収納になりがち。

◎秋物専用ケース  
秋は、インナーにしたり重ね着したりする夏物も残しておく必要があります。秋は夏から続けて着る服も多く、秋物は量が少なく生地が薄いものがほとんどなので、ポリウムがありません。このため、秋物だけを別のケースに収納しておくとう便利です。これは、春に秋冬の衣類を収納する際にすることなので、憶えておいてください。

この方法で収納しておいた秋物の衣類と、春夏しか着ない衣類をケースごと入れ替える。秋の衣替えは、これだけで十分なのです。繰り返しますが、その準備は春に秋冬の衣類を収納する際にしなければなりません。だから今年の夏・秋は、来春の衣替えに向けた下見の時期と考えてください。

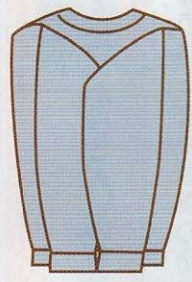
### ◎たたみ方、基本ワザ

次は、オールシーズン役立つ、衣替えの際の衣類のたたみ方です。以前にも少し紹介しましたが、基本ワザの復習とともに新ワザも取り上げました。イラストAの基本ワザは長袖のニット、トレーナー、ワイシャツ、またTシャツにも使えます。Bは、シワになりにくいスカートやズボンの収納法。ラップの芯などを利用します。

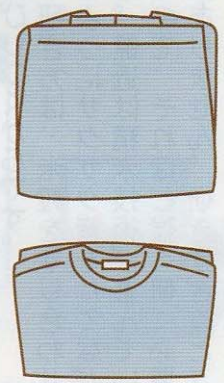
### ①後ろを上にして広げる



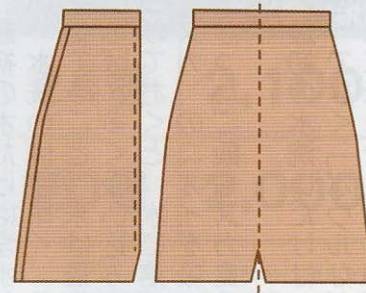
②収納場所にあわせ左右を折る



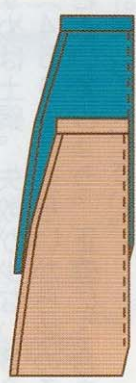
### ③縦に折る（三つ折り、四つ折りで可）



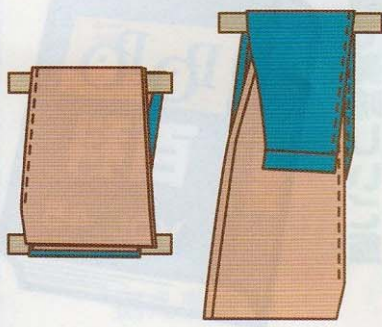
### ①スカート縦に二つ折り



### ②同様に折ったスカートをずらして重ね



### ③ラップの芯を挟み上のスカートを折り、下側も同様に



## 読者からのお便り

### いつ何が起るのか

大阪府高石市 中谷きぬ子様  
震災後、「稲むらの火」が話題になっていきます。今回の80号でマイコンメーターの復旧方法など覚えることができました。いつ何が起るかわからないので。

### ガスを選択してよかった

滋賀県彦根市 大林潤様  
家を建てる時、オール電化をすすめられましたが、停電した時、せめて火が使えたらと思いいガスを選択しました。今回の地震で改めて、この選択にしてよかったと思います。何事もなかったように普通の生活ができることに感謝し、被災地の1日も早い復興を祈ります。

### 海軍カレー

福井市 松井恵様  
よこすか海軍カレー、おいしいですよね。栄養バランスもよくて、手軽にできる代表的な家庭料理になりました。

### 電気も水もない生活

茨城県小美玉市 盛くに子様  
震災から2ヶ月、電気も水もない生活。ガスだけが使用でき有難いことでした。落ち着いてきましたので、いただいた花の種を蒔くと、芽がたくさん出てきました。花が咲くのが楽しみです。大きな震災が来ないことを祈りたいです。

これを折りたいです。  
滋賀県長浜市 角田美代子様  
第80号の「読者からのお便り」を読んで、東日本大震災に遭われた茨城県の方々が「ガスは使えた」とプロパンに感謝されているのが印象的でした。今、オール電化とよく呼びかけられていたりしますが、私はこれからもプロパンと仲の良い生活を切に望みます。

### 前向きに考えたい

茨城県筑西市 猪木康夫様  
鬼怒川の3つの橋のひとつが流れ、先日やっと修復、交通渋滞が解消しました。まだまだ週の3回程程度の余震が続きます。近所では、ブロック塀を修復した家もあれば様子見の方々もあり、様々です。それより、福島原発の行く末が案じられる昨今です。まだまだ不安が続きますが、そこそこのところでき持ちを切り替えて、前向きに考える次第です。

